

株主メモ

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)	定時株主総会	毎年6月開催
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告(当社のホームページ https://www.tdk.com/ja/index.html に掲載いたします)
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日	単元株式数	100株
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)	株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

■ 株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口
配当金の受取方法の指定・変更、 単元未満株式の買取・買増請求、 住所変更、名義変更等	証券会社等にて当社株式をお持ちの株主様 ▶お取引のある証券会社等へお問い合わせください。
	特別口座にて当社株式をお持ちの株主様 ▶三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。
未払配当金の照会、支払い	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

■ お知らせコーナー

<p>● 配当金の受取方法について：</p> 配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします。
<p>● 単元未満株式の買取・買増請求について：</p> 単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料は無料となっておりますので、是非ご利用ください。 (但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご注意ください)
<p>● 今回お送りした「配当金計算書」について：</p> 確定申告の際にご参照いただけますので、大切に保管してください。
<p>● 株式分割について：</p> 2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

■ 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 **0120-782-031** (フリーダイヤル)
(受付時間:9:00 ~ 17:00 ※土日休日を除く)



この冊子は植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

TDK株式会社
〒103-6128 東京都中央区日本橋二丁目5番1号
<https://www.tdk.com/ja/index.html>

VALUE CREATION 2023

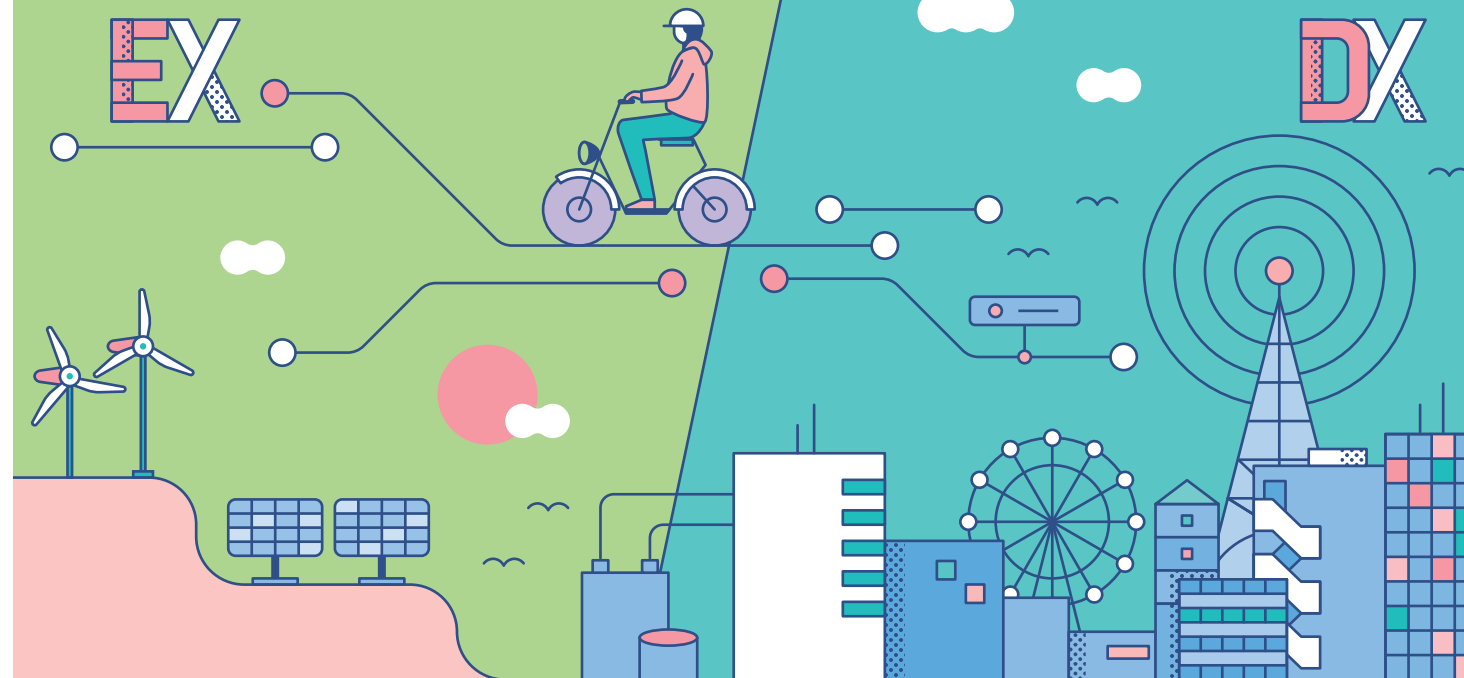
証券コード:6762
126期 株主通信

TDK Today

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

Vol.68

新中期経営計画
特集 「Value Creation 2023」がスタート



株主の皆様へ

エレクトロニクス需要の回復基調が継続。
通期業績見通しを上方修正。



2022年3月期上半期業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年3月期上半期(2021年4月1日から9月30日までの6か月間)の連結業績についてご報告申し上げます。

当上半期においては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展に伴い、先進国を中心に社会経済活動の正常化が進み、生産活動も回復傾向が続きました。自動車市場では半導体や部材の供給不足の影響を受けたものの、部品搭載点数の増加傾向などにより旺盛な受注状況が継続。ICT(情報通信技術)市場では、ノートPCやタブレット端末の需要が堅調に推移しました。また、データセンター向けの需要が回復し、サーバー用HDD(ハードディスクドライブ)の生産が好調に推移。産業機器市場では企業の設備投資が高水準で推移し、販売が拡大しました。

このような経営環境の中、2022年3月期上半期の連結業績は、売上高が前年同期比29.4%増の8,942億円、営業利益が前年同期比28.2%増の800億円、当期純利益が前年同期比61.6%増の682億円となりました。

2022年3月期 上半期連結業績概要

売上高	8,942億円(前年同期比29.4%増)
営業利益	800億円(同 28.2%増)
当期純利益	682億円(同 61.6%増)

当上半期は、エレクトロニクス需要の回復基調が継続し、特にDX(デジタルトランスフォーメーション)、EX(エネルギートランスフォーメーション)関連の需要が堅調に推移しました。その結果、当上半期は売上高、営業利益ともに過去最高を更新*しました。

*営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2022年3月期下半期の見通しについて

2022年3月期の市場動向につきましては、半導体不足などにより自動車やスマートフォンの生産台数は、期初の想定を下回る状況ではありますが、電子部品の需要に関しては、xEV(電気自動車等)や先進運転支援システムの需要が拡大していること、産業機器や医療機器などエレクトロニクス市場の裾野が広がっていることなどを背景に、当面は堅調な市況を想定しています。第3四半期の売上高増減イメージは以下の通りです。

第3四半期の売上高増減イメージ

セグメント区分	2022年3月期第2四半期実績	2022年3月期第3四半期予想(第2四半期比)
受動部品	1,273	△1%～△4%
センサ応用製品	327	△2%～△5%
磁気応用製品	654	△3%～△6%
エネルギー応用製品	2,355	+3%～+6%
その他	132	-
合計	4,741	±0%

業績と配当の見通しについて

上半期の実績と下半期の業績見通しを踏まえた2022年3月期の連結業績と1株当たり配当金の見通しは、以下の通りです。

売上高	1兆8,000億円(前期比 21.7%増)
営業利益	1,570億円(同 40.8%増)
当期純利益	1,100億円(同 38.6%増)
中間配当	100円(前期実績 90円)
期末配当(株式分割前換算)	(見通し)36円(108円)(同 90円)
年間配当(株式分割前換算)	(見通し)(208円)(同 180円)

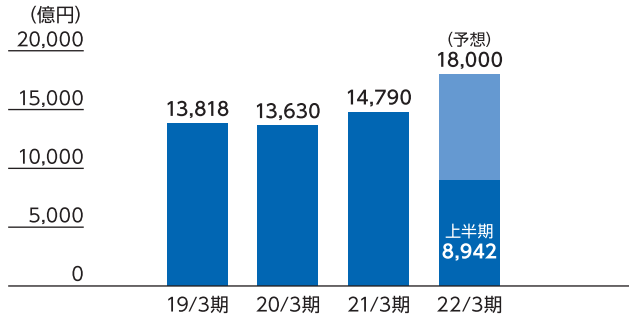
※第3四半期以降の平均為替レートは対米ドル109円、対ユーロ128円を想定(2021年11月1日時点)

新型コロナウイルス感染症の感染再拡大など、先行きの不透明な状況が続いているなか、エレクトロニクス需要は回復基調が継続しています。こうした市場動向と事業の推進状況を総合的に判断し、通期の業績見通しを上方修正しました。今後も企業価値の向上に積極的に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

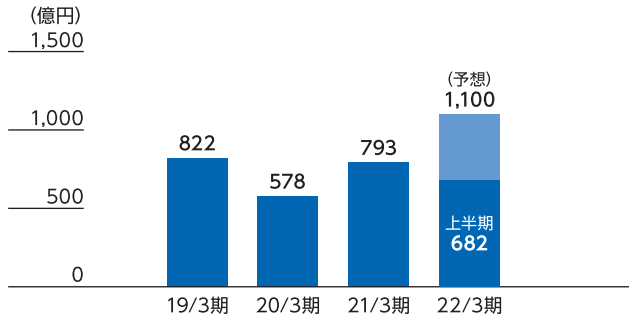
代表取締役社長 石黒成直

主要財務指標等の推移 (予想: 2021年11月1日発表)

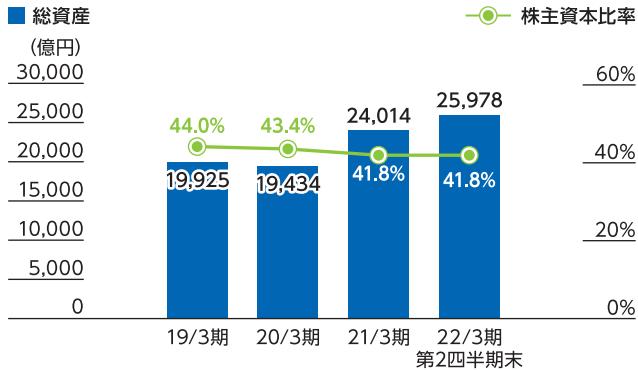
売上高



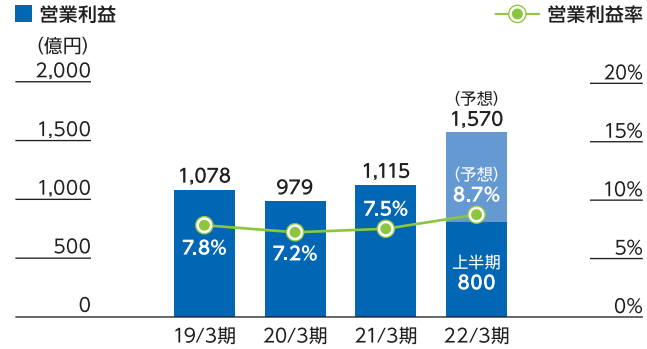
当期純利益



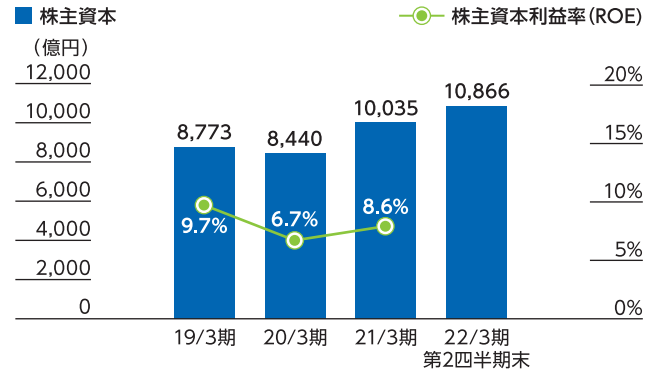
総資産及び株主資本比率



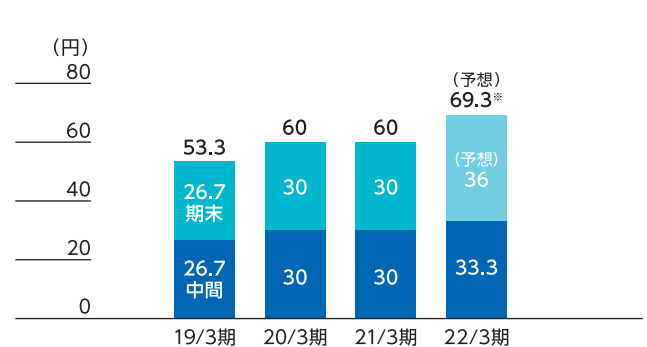
営業利益及び営業利益率



株主資本及び株主資本利益率(ROE)



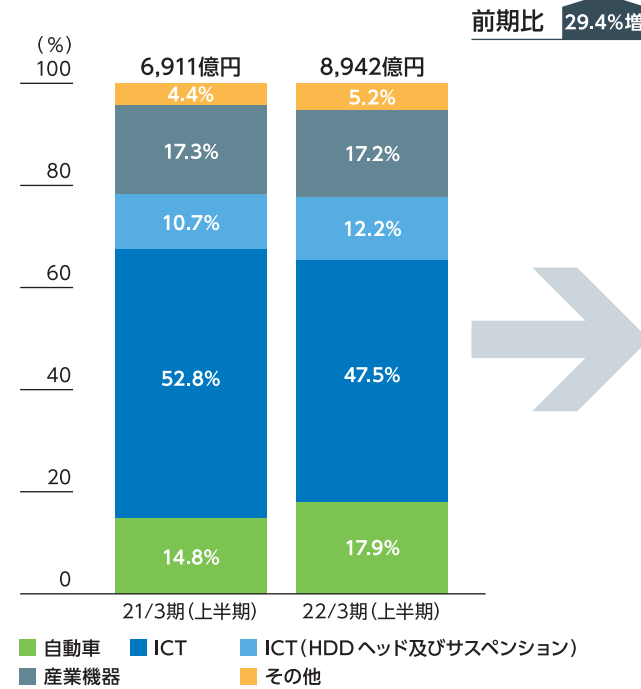
1株当たり配当金



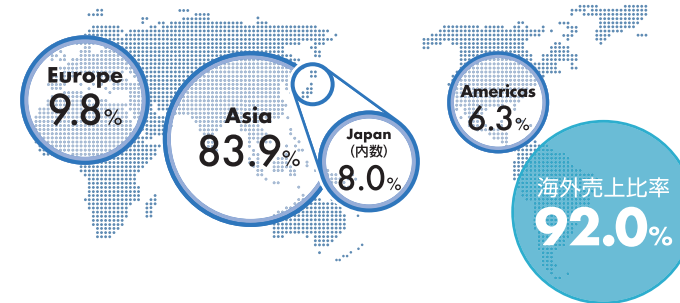
* 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。2021年3月期以前についても株式分割実施後の基準に換算した数値を記載しています。2022年3月期の1株当たり配当金については、中間配当を100円(株式分割前の株式数を基準に実施)とし、期末配当予想を36円としております。

重点分野別売上の状況 (2022年3月期上半期)

●全体

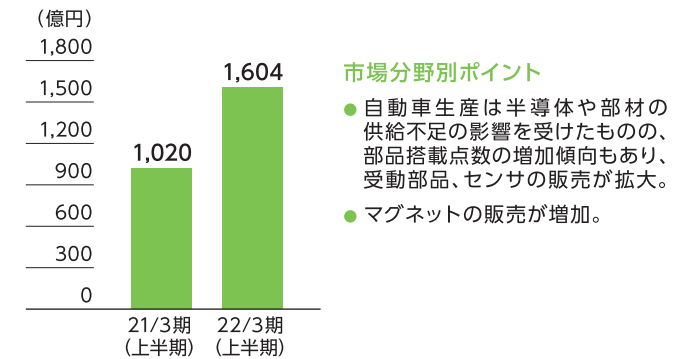


地域別売上構成 (2022年3月期上半期)



TDKグループはグローバルに事業を展開しており、海外売上比率は90%を超えています。また、地域別では、日本を含めたアジア地域が83.9%と、最も大きな割合を占めています。

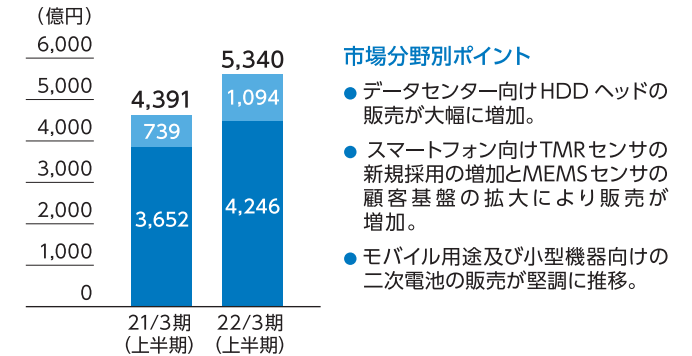
■自動車



市場分野別ポイント

- 自動車生産は半導体や部材の供給不足の影響を受けたものの、部品搭載点数の増加傾向もあり、受動部品、センサの販売が拡大。
- マグネットの販売が増加。

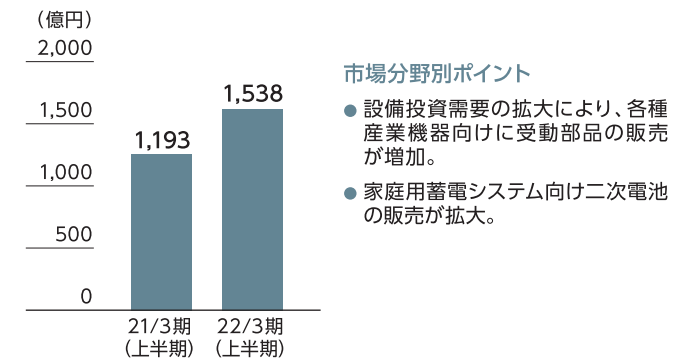
■ICT及びICT(HDDヘッド及びサスペンション)



市場分野別ポイント

- データセンター向けHDDヘッドの販売が大幅に増加。
- スマートフォン向けTMRセンサの新規採用の増加とMEMSセンサの顧客基盤の拡大により販売が増加。
- モバイル用途及び小型機器向けの二次電池の販売が堅調に推移。

■産業機器



市場分野別ポイント

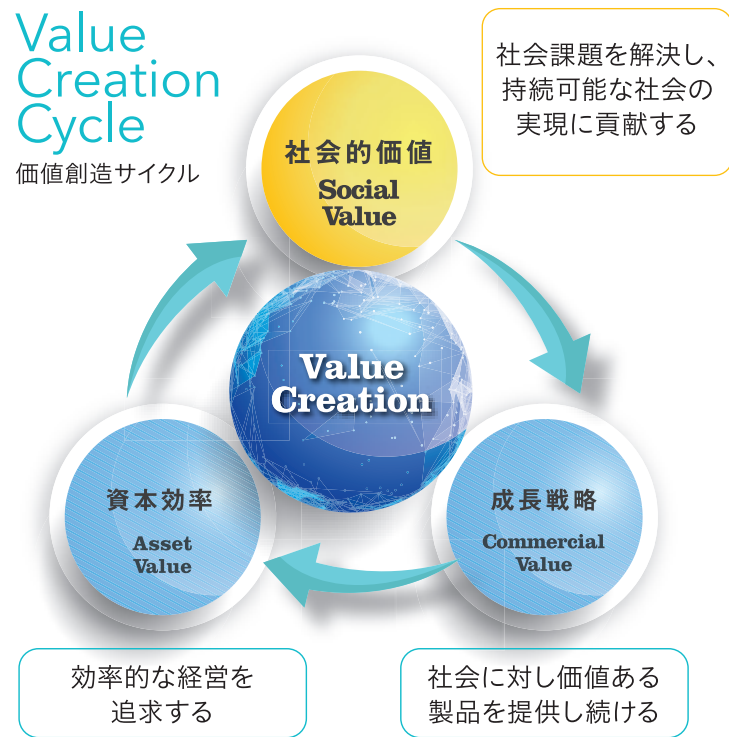
- 設備投資需要の拡大により、各種産業機器向けに受動部品の販売が増加。
- 家庭用蓄電システム向け二次電池の販売が拡大。

新中期経営計画「Value Creation 2023」がスタート

TDKは、持続的な成長による企業価値のさらなる拡大に向けて積極的な取り組みを進めるべく、2022年3月期を初年度とする2024年3月期までの3か年の中期経営計画「Value Creation 2023」を発表しました。

中期計画においては、社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献する「Social Value (社会的価値)」を起点として、社会に対して価値ある製品を提供し続ける「Commercial Value (成長戦略)」、効率的な経営を追求する「Asset Value (資本効率)」という3つの柱をサイクルで回していくことにより、企業価値の創出を図っていきます。

また、お客様に満足していただけるソリューションを提供し、期待を超える体験をしていただく2CX (Customer ExperienceとConsumer Experience)の実現に向けて、DX (デジタルトランスフォーメーション)とEX (エネルギートランスフォーメーション)に貢献することで、価値ある存在となることを目指します。



Corporate Strategy

Value Creation 2023

2CX 実現に向けてDXとEXを加速させ、持続可能な社会のための価値を創造する

<p>Commercial Value 成長戦略</p> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">売上高 2 兆円</p>	<p>Asset Value 資本効率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>営業利益率</td> <td style="text-align: right;">12% 以上</td> </tr> <tr> <td>ROE</td> <td style="text-align: right;">14% 以上</td> </tr> <tr> <td>設備投資 (3年間)</td> <td style="text-align: right;">7,500 億円</td> </tr> </table>	営業利益率	12% 以上	ROE	14% 以上	設備投資 (3年間)	7,500 億円	<p>Social Value 社会的価値</p> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">社会の課題解決に貢献</p>
営業利益率	12% 以上							
ROE	14% 以上							
設備投資 (3年間)	7,500 億円							

サステナブルな成長を実現する製品群

中期経営計画についての詳しい情報は、
TDKホームページをご覧ください ▶



Digital Solution

IoT や高速通信、自動運転技術など、あらゆる機器のデジタル変革が進むなか、データストレージ、センサなどのトランスデューサー、電子部品といった製品群を拡充することで、社会のDXに貢献していきます。

データストレージ	トランスデューサー	電子部品
<p>HDDヘッド 産業用ストレージ</p>	<p>温度・圧力センサ ピエゾアクチュエータ MEMSマイクロフォン TMRセンサ</p>	<p>5G ~高周波部品 RFインダクタ ノイズ対策部品 電波暗室</p>

Energy Solution

IoT 機器や電動二輪車向けの二次電池、EV (電気自動車等) や発電・送電設備向けの電源装置、また、幅広い電子部品の提供を通じて、エネルギーの有効活用を支え、社会のEXに貢献していきます。

エネルギーストレージ	電源装置	モーター・ジェネレーター
<p>小型二次電池 中型二次電池</p>	<p>双方向 DC-DCコンバータ EV用 DC-DCコンバータ プログラマブル電源</p>	<p>EVモーター・風力発電機用マグネット 電子部品 車載用MLCC 車載用パワーインダクタ トランス</p>

TOPICS 1

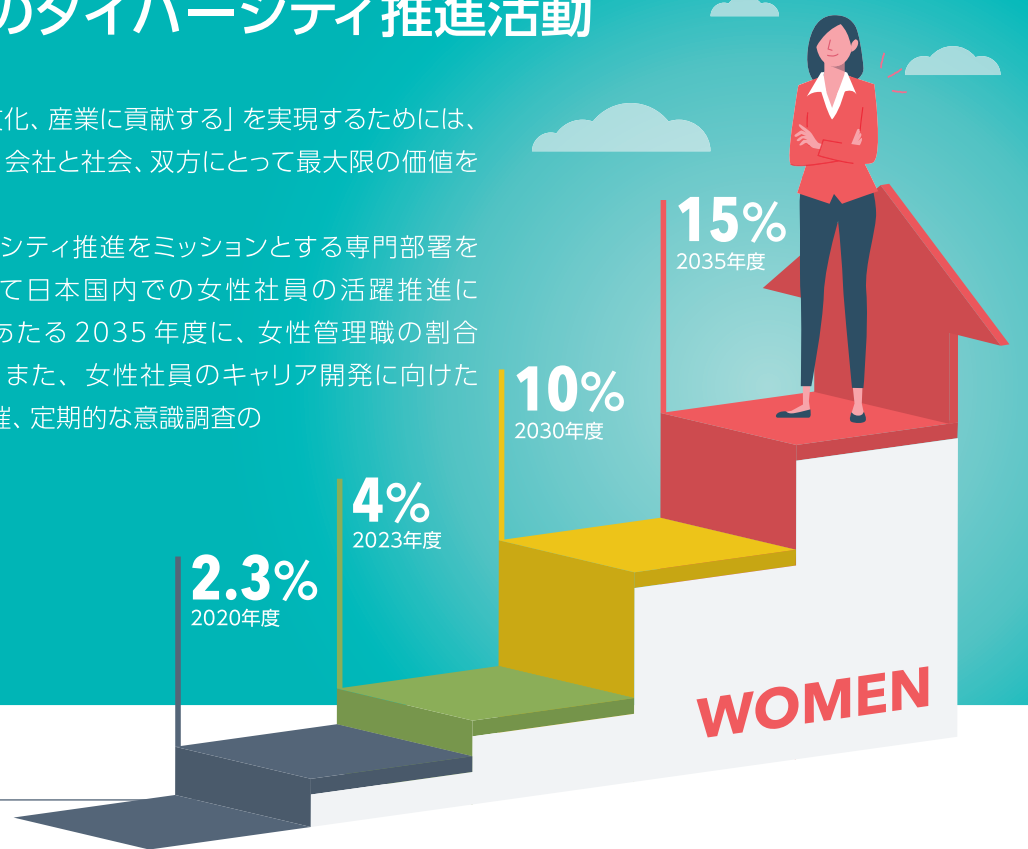
TDKのダイバーシティ推進活動

TDKが掲げる社是「創造によって文化、産業に貢献する」を実現するためには、個性あふれる従業員の力を活かし、会社と社会、双方にとって最大限の価値を生み出すことが重要です。

TDKは2020年10月にダイバーシティ推進をミッションとする専門部署を設置しました。第一ステップとして日本国内での女性社員の活躍推進に取り組んでおり、創業100年にあたる2035年度に、女性管理職の割合15%を目指すことを決めました。また、女性社員のキャリア開発に向けたメンター制度や各種セミナーの開催、定期的な意識調査の実施などを進めています。

ダイバーシティ推進活動のマイルストーン

2035年度 TDK(株)の女性管理職比率を15%に



ダイバーシティ推進部の設置

TDK人財本部内に国内のダイバーシティ推進をミッションとする専門部署を設置しました。



管理職ワークショップの実施

TDKの全管理職を対象にダイバーシティ推進の意義を共有するワークショップを開催しています。

TDKダイバーシティ&インクルージョン方針

ダイバーシティの推進にあたり、TDKでは2020年4月に活動方針である「TDKダイバーシティ&インクルージョン方針」を制定しました。



詳しくは TDK ホームページをご覧ください ▶

TOPICS 2

ドローンや鉄道の安全な運行を支える、指先サイズの高感度センサ



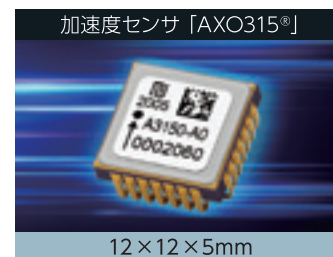
物体の動きや回転、傾きなどを正確に検知する「慣性センサ」。スマートフォンやゲーム機のコントローラーに使われるだけでなく、航空機や鉄道、船舶などの大型交通機関にも搭載され、機体や船体の動きを検知することで、安全な運行を支えています。

また、自動運転車や配送用ドローン、エアタクシーなど、将来の暮らしを大きく変える技術には欠かせないデバイスです。TDKは、高精度の慣性センサの開発を通じて、技術の進化と産業の発展を支えています。



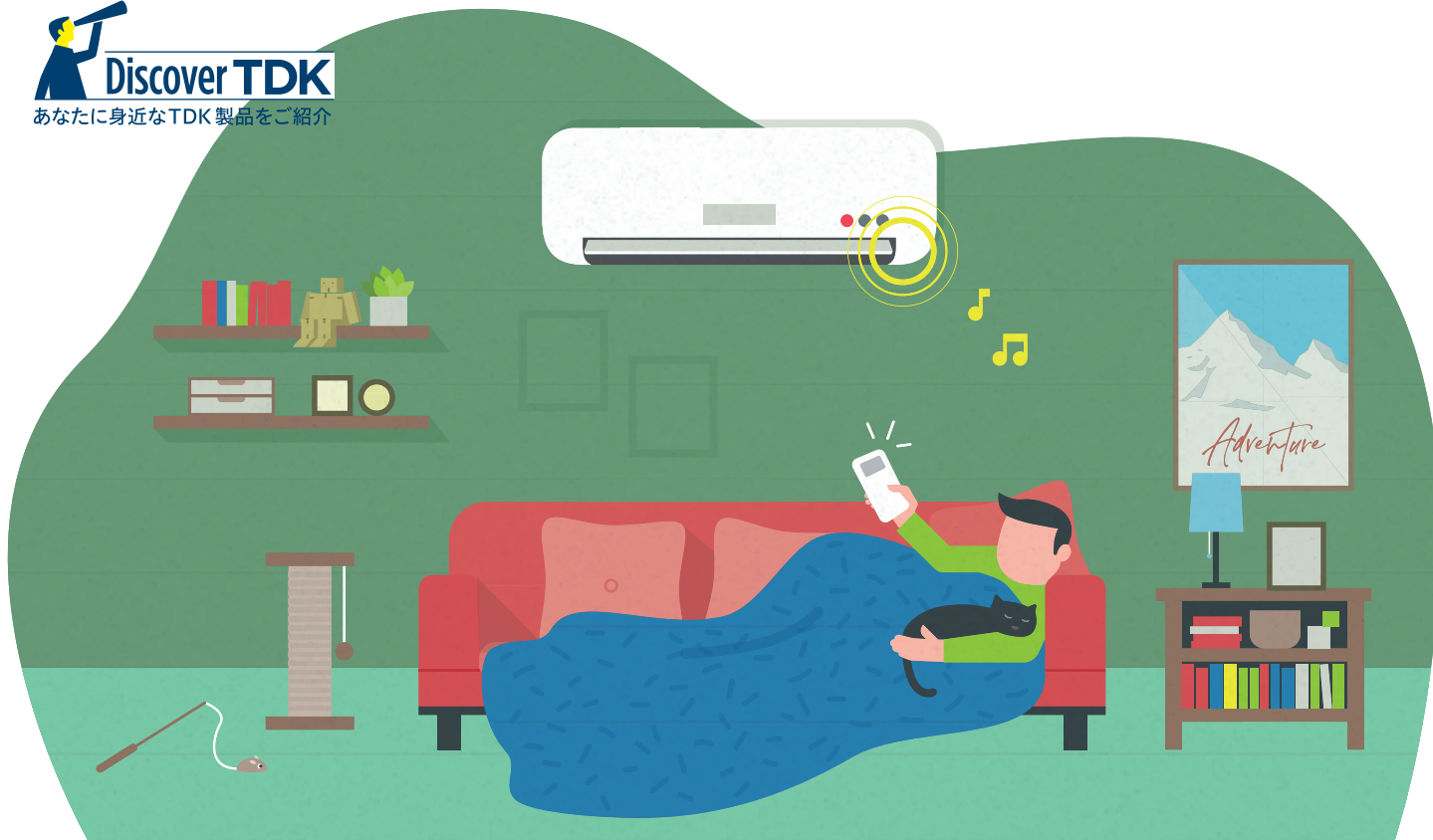
日本では「空の産業革命」というキーワードを掲げ、医療支援、インフラ維持管理、災害対応などの社会課題をドローンの活用によって解決することを目指しており、官民共同で技術開発や環境整備が進められています。(*)

※ 参考：小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会「空の産業革命に向けたロードマップ 2021」より



小型・高精度を誇るTDKの慣性センサ

TDKのグループ会社であるTronics Microsystemsが開発した高精度の慣性センサ「AXO®」と「GYPRO®」。指先サイズの小型センサが、航空機や船舶など、高い精度と安全性が求められる分野で大きく活躍しています。



エアコンの「ピッ」に、TDK

エアコンを操作するとき聞こえる「ピッ」という音。リモコンの操作確認に役立つこの音を鳴らしているのは、「圧電ブザー」という電子部品です。

圧電ブザーとは、電圧を加えると外形が歪む性質をもつ「圧電セラミックス」を振動させて音を鳴らすブザーのこと。TDKの圧電ブザーは薄型・軽量かつ音量が大きいことが特長です。身近なところでは、エアコンの操作音をはじめ、冷蔵庫のドアの開放状態を知らせる音や、電子レンジ、ファンヒータの警報音、電子体温計の検知音など、幅広い分野で使用されています。

世界中の家電製品に搭載されているTDKの圧電ブザー。暮らしの中で「ピッ」と鳴る音を聞いたら、TDKのことを思い出してください。

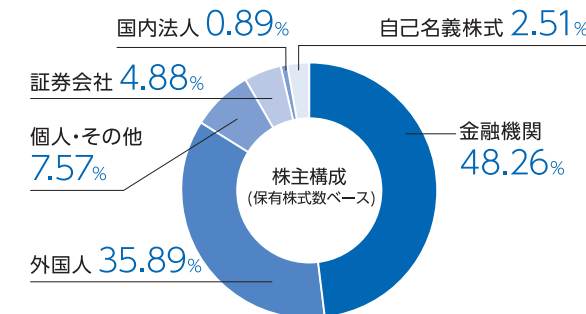


会社概要・株主の状況

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	TDK 株式会社 (TDK Corporation)
本社所在地	東京都中央区日本橋二丁目5番1号 日本橋高島屋三井ビルディング
設立年月日	1935年12月7日
資本金	32,641,976,312円
従業員数	117,054名
HPアドレス	https://www.tdk.com/ja/index.html

株主の状況 (2021年9月30日現在) 株主数 31,213名



役員状況 (2021年9月30日現在)

取締役 (*印は社外取締役)	監査役 (**印は社外監査役)	執行役員	
代表取締役 石黒 成直	常勤監査役 桃塚 高和	社長 石黒 成直	執行役員 Joachim Thiele (ヨアヒム・ティール)
代表取締役 山西 哲司	常勤監査役 末木 悟	専務執行役員 逢坂 清治	執行役員 Hong Tian (ホン・ティエン)
取締役 澄田 誠	監査役 石井 純**	専務執行役員 Joachim Zichlarz (ヨアヒム・ツイヒラルツ)	執行役員 Albert Ong (アルバート・オン)
取締役 逢坂 清治	監査役 Douglas K. Freeman** (ダグラス・K・フリーマン)	専務執行役員 山西 哲司	執行役員 松岡 大
取締役 佐藤 茂樹	監査役 千葉 通子**	常務執行役員 齋藤 昇	執行役員 指田 史雄
取締役 石村 和彦*		常務執行役員 永田 充	執行役員 Ji Bin Geng (ジービン・ガン)
取締役 中山 ござ彥*		常務執行役員 Michael Pocsatko (マイケル・ポチャッコ)	執行役員 Werner Lohwasser (ヴェルナー・ローヴァッサー)
取締役 岩井 睦雄*		常務執行役員 Andreas Keller (アンドレアス・ケラー)	執行役員 生嶋 太郎
		常務執行役員 佐藤 茂樹	執行役員 橋山 秀一

IR年間スケジュール

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通期決算発表			第1四半期決算発表			第2四半期決算発表			第3四半期決算発表		
	招集通知送付		株主総会開催 期末配当金支払い開始		中間配当株主確定		中間配当金支払い開始				期末配当株主確定